



2021年3月15日

各 位

会 社 名 株式会社 REVOLUTION
 代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 岡 本 貴 文
 役 職 氏 名 (コード番号 8894 東証第2部)
 問 合 せ 先 取 締 役 津 野 浩 志
 電 話 番 号 0 8 3 - 2 2 9 - 8 8 9 4

**2021年10月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想
 及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年12月15日に公表した2021年10月期第2四半期累計期間（連結・個別）の業績予想、及び2021年10月期通期（連結・個別）の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年10月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想（2020年11月1日～2021年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	488	36	65	64	0.22
今回修正予想（B）	583	134	165	140	0.48
増減額（B－A）	95	98	100	76	—
増減率（％）	19.5	272.2	153.8	118.8	—
（参考）前第2四半期実績 （2020年10月期第2四半期）	—	—	—	—	—

（注）当社は2020年10月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、2020年10月期第2四半期の数値については記載しておりません。

(2) 個別業績予想（2020年11月1日～2021年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	488	42	71	70	0.24
今回修正予想（B）	583	135	166	142	0.48
増減額（B－A）	95	93	95	72	—
増減率（％）	19.5	221.4	133.8	102.9	—
（参考）前第2四半期実績 （2020年10月期第2四半期）	393	△8	△20	△21	△0.11

(3) 修正理由

連結業績予想における売上高につきましては、投資事業において、新株予約権を適宜行使し、市場の動向を鑑みながら売却を進めておりますが、第1四半期において株価が上昇したことから前回予想を上回る見込みです。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高が前回予想を上回ったことを背景にそれぞれ増加し、連結子会社にて当初見込んだ販管費の計上が現時点では発生しない見込みであることから前回予想を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述の背景を理由に増加した一方で、概算で算出した法人税等に修正が見込まれることを勘案した結果、営業利益及び経常利益程ではないものの前回予想を上回る見込みです。

なお、個別業績に関しても連結子会社に係る部分を除き同様の理由です。

2. 2021年10月期通期業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	979	22	57	54	0.18
今回修正予想 (B)	1,124	122	159	134	0.45
増減額 (B-A)	145	100	102	80	—
増減率 (%)	14.8	454.5	178.9	148.1	—
(参考) 前期実績 (2020年10月期)	763	△32	△37	△187	△0.81

(2) 個別業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	979	34	69	66	0.22
今回修正予想 (B)	1,124	124	161	136	0.55
増減額 (B-A)	145	90	92	70	—
増減率 (%)	14.8	264.7	133.3	106.1	—
(参考) 前期実績 (2020年10月期)	763	△31	△35	△186	△0.81

(3) 修正の理由

連結業績予想における売上高につきましては、第2四半期累計期間までの見込みに加え、不動産事業においては再販物件の仕入れが進んだこと、賃貸においても概ね計画どおりに進捗していることから前回予想を上回る見込みです。

営業利益及び経常利益につきましては、前述の売上高の見込みが前回予想を上回ったこと、連結子会社にて当初見込んだ販管費の計上が現時点では発生しない見込みであることからそれぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の背景を理由に増加した一方で、概算で算出した法人税等に修正が見込まれることを勘案した結果、営業利益及び経常利益程ではないものの前回予想を上回る見込みです。

なお、個別業績予想に関しても連結子会社に係る部分を除き同様の理由です。

以上

(業績見通しに関する留意事項)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。